

埼玉県山岳連盟 埼玉岳連報 52 号

発行者 石倉 昭一

発行所 連盟事務所 天野 賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

編集人 岩井田正昭

発行数 1600 部

埼玉岳連

第 70 回和歌山国体 天皇杯 1 位・皇后杯 2 位獲得！



前列 左から門間監督、金子選手、小林選手、是永選手、渡邊選手、後列 左から鈴木監督、天皇杯を手に内海監督、坂井選手、加島選手、波田選手、本間選手、最後列中央 宇津木監督、左上丸抜き 小茂田総監督

『60周年を迎えて』

埼玉県山岳連盟会長 石倉 昭一

埼玉県山岳連盟は昭和30年8月に結成され本年60周年を迎えました。(公社) 日本山岳協会、(公財) 埼玉県体育協会を始め山岳連盟の役員の方々や加盟団体の皆様の大変なご努力とご指導ご鞭撻に対し厚くお礼を申し上げます。

この10年を振り返ってみると、全国的な会員の高齢化に伴い、埼玉県山岳連盟も岳連加盟者数の減少が少しづつ表れてきた感じがします。一方、山岳界を取り巻く状況も変わってきました。登山といってもかつてのヒマラヤを頂点とする卓越登山、中高年を中心に百名山、ハイキングなどの健康登山、オリンピックも夢ではなくなった競技登山(スポーツクライミング)、また人気上昇中のトレイルランニングなど自然を愛する登山という枠から拡がってきています。

このような状況の中で埼玉県山岳連盟はどうすべきか、今年の11月に埼玉県山岳連盟として初めてトレイルランニングの大会開催を手掛けることになりました。山岳界の変化に対応するためと理解していただければと思います。

ここ3、4年若い人達も山へ行く登山ブームも起きています。また遭難事故も多く、埼玉県内や全国的に見ても遭難事故は増え、統計を取って以来過去最高を記録しております。

埼玉県山岳連盟としては、登山者が登山知識、技術をしっかりと習得し、安全登山に心がけていただきたいと思います。そのため組織である山岳会に入っの登山を奨め、また組織外にいる個人の加盟を促すなど、安全登山への取り組みを更に進めて行きたいと考えております。

また加須市・加須市山岳連盟のご協力の下、競技登山(スポーツクライミング)も更なる発展を目指したい。

来年2016年8月11日、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝するという趣旨の新しい国民の祝日「山の日」がスタートします。先輩の方々が育て築いてきた埼玉県山岳連盟は、これから10年後に向けて会員との連携を密にし、会員一人、一人の力を合わせ、登山界を盛り上げて行きます。

岳連報 52 号 目次

- 1 p : 巻頭言『60 周年を迎えて』
- 2 p : 速報・第 70 回和歌山国体
- 3 p : 7 月理事会 報告
- 4 p : 9 月理事会 報告
- 5 p : 同上
- 6 p : 関東ブロック大会 土屋審判長/報告
- 7 p : 関東ブロック大会 村岡競技委員長/報告
- 8 p : 専門委員会計画・寄稿[武甲山・登山]
- 9 p : 【事務局だより】・編集あとがき
- 10p~12p 広告
ピラミッドジャパン(株)・日本用品(株)・田中産業(株)

速報・第 70 回和歌山国体



競技結果 天皇杯 1 位
皇后杯 2 位

総監督・小茂田利孝

成年男子

リード : 9 位
ボルダリング : 4 位
監督・鈴木 友希
選手・是永 敬一郎、渡邊 海人

成年女子

リード : 2 位
ボルダリング : 1 位
(埼玉県勢・初優勝)
監督・宇津木 秀二
選手・加島 智子、坂井 絢音

少年男子

リード : 1 位
(2 年ぶり 3 回目の優勝)
ボルダリング : 2 位
監督・内海 信
選手・波田 悠貴、本間 大晴

少年女子

リード : 8 位
ボルダリング : 11 位
監督・門間希美
選手・金子 桃華、小林 由奈

県岳連創立以来の最高成績で 60 周年に
大きな花を添えてくれました。

選手・監督・スタッフ・応援の皆さま
ご苦労さまでした。



天皇杯、副賞を掲げる少年男子
左・波田悠貴選手、右・本間大晴選手



成年女子ボルダリング優勝
左・坂井絢音選手、右・加島智子選手

平成 27 年 7 月理事会報告

7 月 8 日(水)午後 7 時 30 分~北本市中央公民館

0 出席 石倉会長, 相澤副会長, 村岡副会長(企画), 天野理事長, 土屋(競技), 内海(強化), 鈴木(海外), 岩崎(自然), 岩井田(広報), 長谷川(個人), 加藤事務局長、以上 常任理事
山口(UD), 門出(東部), 小高(アルム), 岡(エコー), 小茂田(高体連), 岡野(蓮田), 伊藤(防医), 笠原(彩岳)
以上 理事 計 19 名

1 開会挨拶 (相澤副会長)
2 会長挨拶 (石倉会長)いよいよ関プロが下旬に開催。60 周年記念事業も順調に進められています。山の日イベントも群馬岳連が主管で 8/8-9 で開催されます。トランの協議もありますが宜しく願い足します。

- 3 報告**
- ①5/13-14 岳人の家 清掃活動 14 名参加旧三峰分校
 - ②5/16-17 第 1 回ユースホルダー-鳥取大会鳥取県倉吉市
 - ③5/24 KAZO クライミングカップ 2015 122 名参加
男子は 1 位波田、2 位是永
 - ④5/30 読図・アクセント対応講習・研修会
19 名参加 天覧山
 - ⑤5/31 コバトンホルダーリングカップ in RC 川越 130 名参加
1 位波田、2 位是永
 - ⑥6//6-7 第 29 回ジャパンカップ 和歌山大会 80 名+α
和歌山県みなべ町
 - ⑦6/7 平成 27 年度奥秩父山系山開式<秩父山岳連
盟主管>7~80 名参加 奥秩父・霧藻ヶ峰
 - ⑧6/13 さいたま市岳連 山岳救助隊・飯田副隊長
「安全に山を登る」講演会 103 名 大宮ソニック
 - ⑨6/27 70 国体関東ブロック大会山岳競技 役員研修会
36 名参加 加須市民体育館
 - ⑩7/5 谷川岳開山式・安全祈願祭 石倉会長

- 4 協議**
- (1)創立 60 周年事業について
 - ①記念式典(天野・加藤・野村・土屋・宇津木・長谷川・塩谷)(11/28・土 午後 ~開催)
 - ②記念誌(岩井田・村岡・鈴木)について
 - ③記念山行(石倉・相沢・岩崎・瀬藤・内海・野村匠)
 - (2)70 国体関東ブロック大会埼玉大会について
 - (3)平成 27 年度評議員総会での課題について
 - ①負担金(会費)について
 - ②慶弔規程について
 - ③遭対規程について
 - (4)カンダ-用写真応募要項について
 - (5)指導員資格の更新について
 - (6)第 2 回関東小中学生選抜クライミング選手権大会参加

- の選手選考について 内海選手強化委員長
- (7)「FunTrails100K Round 秩父&奥武蔵」の
協力について 村岡企画委員長
- (8)「山の日」制定記念プロジェクト(群馬県主管)につい
て。8/8-9 谷川岳周辺 関東各県が協力
・登攀チーム=加藤・鈴木 縦走コース=天野/小茂田
- (9)その他
 - ①奥武蔵カンダ-フォーゲル(会長:新井宏司)の脱会
 - ②埼玉マウンテンクラブ(会長:高田良一)入会 について
 - ③ネパール大地震支援募金について
 - ④「秩父地域山岳遭難慰霊碑」修復建立について

- 5 各部からの報告等**
- ①指導委員会**
- 5/13-14 日山協指導委員総会 野村・瀬藤・計良
 - 5/20-21 指導・遭対会議(UIAA)
- ②競技委員会**
- 5/24 第 16 回 KAZO クライミングカップ 2015
参加者:135 名 加須
 - 5/31 第 8 階コバトンホルダーリング大会 2015
参加者:130 名 川越 RC
 - 7/9 関プロ打合会 加須
 - 7/11 加須クライミング・ટેィ&打合会
7/20 ホールド外し&打合会。
 - 7/25-26 70 国体関東ブロック大会開催 準備中
- ③選手強化委員会**
- 5/16-17 第 1 回ユースホルダー-鳥取大会 倉吉市
 - 6/6-7 第 29 回ジャパンカップ 和歌山大会 みなべ町
 - 6/23 ジュニア強化担当者会議 スポーツ総合センター
 - 7/1 国体必勝会議 天野・内海 スポーツ総合センター
 - 7/25-26 70 国体関東ブロック大会 加須
成女・選手:加島智子、坂井綾音 監督:宇津木秀二
少男・選手:波田悠貴、本間大晴 監督:内海 信
少女・選手:金子桃華、小林由奈 監督:門間希美
 - 8/14-16 JOC ジュニアオリンピックカップ 2015 富山県南砺市
- ④遭難対策委員会**
- 5/30 読図・アクセント対応講習・研修会 19 名参加
天覧山
 - 6/6 日本山岳会埼玉支部 安全登山講習会 21 名
参加, 瀬藤講師
- ⑤自然保護委員会**
- 5/13-14 岳人の家 清掃活動について
 - 6/13-14 第 4 回関東地区自然保護交流会
埼玉 11 人計 30 人 長野市戸隠・宿坊「極意」
 - 9/12-13 自然保護委員総会自然保護の集い
- ⑥海外登山委員会**
- ・海外登山委員会主催 60 周年記念海外登山の検討
2016 年 8 月インドヒマラヤの 5~6000 メートル峰
 - 6/13-14 日山協国際委員総会及び第 34 回海外登
山遭難対策研究会 鈴木・天野・加藤 利伸

●7/7 例会 海外登山の概要:2週間のトレッキング隊&登頂隊、高所医学の講演会+富士山体験等

⑧広報委員会

●5/31 第51号発行 1600部 14ページ

○9/末 第52号発行予定 関ブロ、JOC、60周年等

⑨企画委員会

●6/23 トレイル検討委員会 別紙参照

○60周年企画として、「クラブデータベース」の作成

○7/ 山田昇杯 協力・視察

○2016/4/23-24 ホルダリング・ワールドカップ加須大会

⑩個人会員委員会

●5/17 シノ大宮で総会

●6/7 奥秩父山系山開式奥秩父・霧藻ヶ峰 参加

○7/16 委員会開催

⑪事務局

☆平成27年度会員証のデザイン募集について

○平成27年度負担金の納入について

○会員証発行について

6. 閉会挨拶 (村岡副会長)

塩谷)について

②記念誌(岩井田・村岡・鈴木)について

③記念山行(石倉・相沢・岩崎・瀬藤・内海・野村匠)について

(2)第70回国民体育大会<10/3(土)~5(月)>について <選手強化委員長・参加選手・監督

成年女子 選手 加島智子(T-WALL 江戸川橋)

坂井絢音(東京国際大学)

監督 宇津木秀二(伊奈学園総合高等学校・教)

少年男子 選手 波田悠貴(久喜工業高等学校)

本間大晴(久喜工業高等学校)

監督 内海 信(春日部工業高等学校・教)

少年女子 選手 金子桃華(聖望学園高等学校)

小林由奈(行田市立長野中学校)

監督 門間希美(埼玉県庁)

成年男子 選手 是永敬一郎(日本体育大学)

渡邊海人(平成国際大学)

監督 鈴木友希(フロンティアスピリッツ)

・4種別全参加 59 埼玉国体 以来

・競技順は抽選会済み→日山協のHP にあり。

★9月23日(祝・水)午後5時 大宮cafe&bar Seagull

にて壮行会開催(幹事:村岡)

(3)慶弔規程について 9/9 より施行

(4)「遭難対策委員会規約」について 9/9 より施行

(5)カレンダー用写真の審査について <総務・事務局長>

(6)名義後援の申請と報告について ・8/29「中高龄安全登山講習会」川越市山田市民センター 川越山の会 五十雀(代表:新井邦男)

(7)指導員総会と研修会、登攀研修会について <指導委員会>

(8)冬山講習会について ※別紙 <遭難対策委員長>

(9)新規加盟団体について ※別紙

・蕨市山岳連盟 会長:須賀敬史 副会長:五十嵐和幸 理事長:富士田始

所属山岳会:TEAM やまあるき 会員:31名 会長:五十嵐和幸(県岳連派遣理事) 事務局:富士田始

・加盟を承認(蕨市山岳連盟・TEAM やまあるき)

(10)「埼玉岳連のFacebook 開設の件」について

(11)その他

①9/12-13 日山協自然保護委員総会・補助について

②11/21-23「FunTrails100K Round 秩父&奥武蔵」について (大会当日、県岳連で一つのエイドを設営し管理運営する。)

③関東ブロック大会開催順序の変更について(茨城岳連 会長から連絡あり)

④2月の関東地区山岳連盟総会(2/6-7)の会場確保について

⑤1月新春懇談会の日時 1月24日(日)について

平成27年9月理事会報告

9月9日(水)午後7時30分~9時 北本市中央公民館

0 出席 相澤副会長、村岡副会長(兼企画)、天野理事長、瀬藤副理事長(兼遭対)、内海(強化)、鈴木(海外)、岩崎(自然)、岩井田(広報)、長谷川(個人)、横内(競技副)加藤(事務局長) 以上常任

柴崎(川口)、山口(UD)、堀江(桜草)、渋谷0(西岳)、門出(東部)、小高(アルム)、石井(壁稜)、岡(エコー)、小茂田(高体連)、岡野(蓮田)、田中(岳稜)、伊藤理事(防医)、笠原(彩岳)、塩谷(大宮)、以上理事 計24名

1 開会挨拶 (相澤副会長)

2 報告

①7/25-26 第70回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技・埼玉大会 加須市民体育館

②8/8-9 谷川岳「山の日」制定記念イベント 天野・鈴木・小茂田・加藤協力参加 みななみ町

③8/14-16 JOC ジュニアオリンピックカップ 2015 富山県南砺市

④8/28 神崎忠男氏を労う会 約254名参加 新宿京王プラザホテル

⑤9/5 清水武甲先生顕彰会理事会・総会・懇親会 秩父じばさんセンター

3 協議

(1)創立60周年事業について <理事長>

①記念式典(天野・加藤・野村・土屋・宇津木・長谷川・

4 各部からの報告等

①指導委員会

- 10/17 指導員総会 飯能市福德寺<大野宅近く> 13時~15時 ※講義よりも実技を重視。
その後、15:30~巾着田に移動 研修会(ツェルト講習)
※希望者はそのまま宿泊 ※一般可
- 10/18 登攀研修会 飯能市「平戸の岩場」

②競技委員会

- 7/9 関プロ打合会 加須
- 7/25-26 70 国体関東ブロック大会 加須
- 10/3-5 第70 回国民体育大会「紀の国わかやま国体」土屋委員長役員(中央総務) 参加和歌山県みなべ町
- 11/29 コパトクライミングカップ(ロープ部門) 加須
- 12/23-24 第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 加須

③選手強化委員会

- 7/25-26 70 国体関東ブロック大会 加須
成女・選手:加島智子、坂井綾音 監督:宇津木秀二
B:1位, L:1位, 総合1位→国体出場
少男・選手:波田悠貴、本間大晴 監督:内海 信 B:1位, L:1位, 総合1位→国体出場
少女・選手:金子桃華、小林由奈 監督:門間希美
B:3位, L:3位, 総合3位→国体出場
- 8/14-16 JOC シュニアオリンピックカップ 2015 ※結果は別紙
富山県南砺市
- 9/3 埼玉県選手強化会議 スポ研
→入賞が期待される競技種目として、体協派遣監督として小茂田氏を選出。(体協が派遣費負担)
- 9/16 水14:30~第70 回国民体育大会「紀の国わかやま国体」埼玉県選手団結団式・壮行会 埼玉会館
- 10/3-5 第70 回国民体育大会「紀の国わかやま国体」和歌山県みなべ町

④遭難対策委員会

- 9/11-13 日山協平成27 年度山岳レスキュー講習会(東部地区) ※鈴木・金澤参加 立山国立登山研修所
- 10/3-4 テントフォーラム in かなやま(主催:群馬岳連/共催:日山協)群馬県太田埼玉県山岳連盟

④遭難対策委員会

- 9/11-13 日山協平成27 年度山岳レスキュー講習会(東部地区) ※鈴木・金澤参加 立山国立登山研修所
- 10/3-4 テントフォーラム in かなやま(主催:群馬岳連/共催:日山協)太田市かなやまキャンプ場
→読図と夜間歩行(ヘッドランプ 使用)の実践、テント泊、翌日、夜間歩行コースを歩いて講習
※イギリスの読図講習では、必ず夜間歩行を実施→日山協も推奨中!! 是非参加を!!
- 12/12-13 平成27 年度遭難防止研修・講習会 ※別紙 スポーツ総合センター

⑤自然保護委員会 ※別紙

- 9/12-13 第39 回日山協自然保護委員総会(自然保護の集い) 磐梯青少年交流の家
- 10/24-25 自然観察会「雲取山」計画(参加者募集) ※別紙 10/15 切岩崎委員長まで 雲取山
- 10/31-11/01 第4回関東地区自然保護交流会 茨城県日立市
※環境省自然公園指導員及び埼玉県立自然公園指導員一覧 ※別紙

⑥海外登山委員会

- 来年8月「60周年記念海外登山」計画中 インドの7000m 峰登山隊1 ヶ月、周辺トレッキング 隊10 日間
※現在ポポナト峰で計画中。変更あり。11 月には決めたい。 ※興味関心のある方は、連絡下さい。

⑧広報委員会

- 9/末 第52 号発行予定 関プロ、JOC、60周年等

⑨企画委員会 ※別紙

- 60 周年企画として、「クラブデータベース」の作成
- 7/18-20 第2 回川場村 山田昇メモリアルカップ 120(山田昇 杯) 協力・視察:村岡・小茂田 群馬
- 7/27・8/10・9/3 トレーン検討委員会 シノ大宮
- 8/23・日・13 時~ 第1回BWC実行委員会 岸記念体育会館 5階 504 会議室
- 8/30・日・高校生大会実行委員会 幕張
- 2016/4/23-24 ワールドカップ 加須大会 加須

⑩個人会員委員会

- 7/16・木 委員会開催 19 時~ シノ大宮7階・講座室
- 8/8 「山の日」制定記念谷川岳登山(西黒尾根から山頂)長谷川・他6名 谷川岳
- 8/27・木 委員会開催 19 時~ シノ大宮 →2ヵ月前に計画し、案内する。
- 9/・木 委員会開催 19 時~ シノ大宮

⑪事務局

- 春日部市山岳連盟・東部登高会 計良寿彦氏
- 日山協 平成27 年度専門委員会常任委員の推薦 8/14 切 →昨年と同様 ※済み
- 9/11-13 東部地区・中高年安全登山指導者講習会
- 10/9-11 第54 回全日登山体育大会宮城大会(柳原政一・大野幾雄・加藤加豆・今井孝江 参加) 栗駒山
- 10/25 日 「火山噴火と安全登山対策」(日本山岳会埼玉支部安全登山委員会第11 回講演会)
講師:福岡孝昭氏(元立正大学地球環境科学部教授・日本山岳会会員)さいたま市・仲町川鍋ビル
- 11/6-8 平成27 年度安全登山普及指導者中央研修会(第2 回) 立山・国立登山研修所

5. 閉会挨拶 (村岡副会長) フェイスブック等これからは情報発信が大事。これらを通じて会員や加盟団体の増加を計りましょう。

第70回国民体育大会 関東ブロック大会

山岳競技 報告 2015.7.25~26

報告者:審判長 土屋正昭

◇以下、印象に残った点を列挙し報告とします。

〈種目共通事項〉

1. 県内役員の出合を、定例会とは別に11回行い、その他で各セクションの出合を直前に3回行った。
2. 選手プロフィールや各都県予選会の資料が期限(6/h)通りの提出でなく、関係資料の作成が遅れた。
3. 審判員は、C級以上を各都県で派遣願う。開催県と後催県が各3人、その他の都県で各2人を選出し総勢は18人。
4. 役員マニュアルは、タイムスケジュール等を見直したが、一部修正が間に合わなかった。整合性をチェックする時間が必要。
5. 今回は、全種別で初日がボルダリングで二日目がリートの各競技。審判員の数が多く、役割分担が難しい。県外の応援者(審判員)にも、記録集計やビレイヤーをお願い出来れば助かるが…難しいか。
6. 審判員総務委員会議及び監督会議は。着席場所を分けた。
7. スタッフTシャツは、全役員を黒のポロシャツに統一したが、特に苦情は無かった。(例年はジャッジと競技役員を色分けしていた。)
8. 名札(IDカード)は役職別で色分けした。
9. 開始式は審判員紹介を省略し極力式典時間を短縮した。
10. エアカード(危険と思われるビースの着用)を1回使用した。
- h. 一般入場者(観客)に、事前に競技順を知らせるプログラム(チラシ)があれば良かった。
12. 事前(7/10期限)の質問事項は無かった。
ただし、正式ではないがメール等で服装(特に下衣)の確認が数件あり、着衣や運動靴の使用はほぼ節度が保たれていた。
13. 各都県の選手監督の服装等は、チームで上下衣を揃えて頂く。今回は総務委員会議にも諮り、下衣が極端に違わなければエアカードは出さないとした。開会式では、裸足の選手が数人いて注意している。
14. セッケンは布製で二日分用意した。
15. オプザベ時は、セッケンの着用がないと、選手が特定できない。チェックが難しいので着用させる。
16. 審判員には、適宜飲める飲料水を用意し、観客には初の試みとしてかき氷を無料で提供した。2日間延べ約400人に提供し、大好評であった。
17. 選手監督には、水分の持ち込みをアウンスで流し、熱中症対策を十分に行った。

18. 集計のエクセル表の入力については、欠場等の不測の事態に備えて、事前に十分シミュレーションをした。
19. 成績の掲示板は、発表時の混雑回避のため2か所設けた。
20. 抗議が許される時間は、仮成績発表から10分間で、本成績発表から5分間とし、文書により受け付けた。抗議は3件あったが、いずれも不採択で主張は認められない。今後は、競技運営面(競技進行の遅延防止)から抗議料の徴収も、ぜひ検討されたい。
21. ビデオモニターへの接続が、確認不十分だった。ビデオ系の事前研修も必要である。
22. タイマーを観客にも見せるよう配慮する。
23. 宿舎では、成績表を誰に渡したか、各都県の名簿が必要である。証拠を残すため。
24. ジャッジペーパー原本や成績表については、証拠書類や各都県配布用原本等として袋に分け保存する予定であったが、片付けが早く処分されていたので、完璧には集まらない。今後は注意したい。
25. 大会初日は、役員宿舎の夕食はなく、別会場で役員約50名による懇親会を行った。
26. アイレーションには、電子通信機器やデジタルカメラは持ち込ませない。最近では、ウォークマン等で通信機器と疑わしいものが多数あるので注意する。
27. アイレーションでは、種別間の競技に関する会話を禁止したが、実際にはアイ管理の時間がズレ重複することが無かった。
28. 競技終了通告は、主任審判員が放送で行った。
29. 表彰式の時間については、来賓を呼んでいる場合は定刻通り行う。
競技が早く終了しても、早められない。

〈ボルダリング競技〉

1. ボルダリング壁2基(2基×2ボルダ)を大会1週間前から着工した。
2. アイレーションには、ボードの形状を記した用紙と白紙の両方を用意した。
3. 事前オブザベーションは、2基4ボルダで10分とした。
4. スタートは、指定位置(両手両足の4点)から行うことを、全担当で再確認した。
5. 審判員は、各壁2人、プラス正副主任審判員の総勢10人で対応した。
6. セッターは照明でショーアップを図りたいと言い、審判は暗すぎて、かつ選手の目に光が入ると意見が衝突。何とか、折衷案で照明を使ってスタートした。
7. 電気を同系列から引き過ぎて、ブレーカーが落ちるアクシデントがあった。
8. もっと、審判員と競技役員とで意思疎通を図る必要がある。例えばボルダリング壁のクリーニングでは、お互いの摺合せが上手くなく、やや公平性に欠ける面もあったようだ。

〈リート競技〉

1. 想定を上回る極暑の中でのルートセットと言うことで、

- 大会当日の作業を極力減らすため、使用壁を増やした。
- 2. 壁(ウォール)は、変更して 3(当初 2)ウォールを使用した。しかし、競技開始時間は変更していない。
- 3. 審判員は、当初の 2ウォールで各基 2 人とし、プラス正副主任審判員の総勢 6 人で対応した。
- 4. 3ウォールが同時進行なら、もっとタイムスケジュールが短縮できた。ただし、審判員以外の役員及び設備等の費用面で厳しくなったと思う。
- 5. アイレーションには、ボードの形状を記した用紙と白紙の両方を用意した。
- 6. 今後はセッターに確認し、プレイヤーの立位置やスポッターの有無を徹底したい。
- 7. 紛らわしいエッジやカンテについて、オブザベーションでも説明する。
- 8. スタートラインを引いて、競技時間の計測開始場所を明示する。
- 9. 今年から、競技中の監督席を設けた。

セットしたグレードは以下の通り

成年女子 リード : 5.12c ボルダール : 1 級~3 級
 少年男子 リード : 5.13b ボルダール : 2 級~初段
 少年女子 リード : 5.12c ボルダール : 1 級~3 級
 本大会では、完登のコールまでに、数秒間の静止が求められると思います。自分で勝手に完登したと判断せずに、ジャッジの完登のコールまで必ず待ってください。
 (チーフリフトセッター:小澤信太さんより)

2 日間の大会は、極暑の中で行われました。
 (会場:加須市民体育館) 選手・監督・関係者の皆さま、大変お疲れ様でした。見事関東ブロックを通過したチームは、紀の国わかやま国体まで、より一層精進し頑張ってください。活躍を期待しています。
 惜しくも、今回本戦出場を逃したチームは、来年の関東ブロック突破に向け、更に練習に励んでください。

来年は、会場が山梨県です。関係者の皆さま、よろしくお願ひいたします。
 また、真夏の関東ブロック大会でお会いしましょう。
 大変な酷暑の中、誠にありがとうございました。

70 関東ブロック大会山岳競技 報告

競技部長 村岡 正己

1. 概要

今回の関東ブロック大会は、山岳競技がクライミング(リード、ボルダリング)一本になり関東各県一巡最後の大会となった。埼玉県は少女(3 位)、少男(1 位)、成女(1 位)ともに本国体の切符を獲得。素晴らしい成績を収めることができました。選手・監督に拍手をおくります。
 少女は、ボルダリングでは東京の野中がダントツのパフォーマンスで全課題を完登。やはり世界クラス。埼玉は山梨と紙

一重の結果。第 1 課題で埼玉、山梨は同様な位置。第 2 課題では戸田が完登し山梨がリード。しかし第 3 課題をアテンプト 1 で完投した金子が東京の野中以上のパフォーマンス。リードでも 3 位を堅守。このボルダールの第 3 課題が運命の分かれ道となった。

少男ボルダールは、東京、千葉との接戦、熱い戦いが見られた。第 2 課題までは東京の大高が身長を活かしたダイナミックな登りで先行。第 3 課題、第 4 課題で挽回し結果 1 位を得る。すれば入れ替わっていた。リードは、波田の得意なところ。あの暑さの中で 5.13 b をリフトは見事であった。

成女は、第 1 課題、第 3 課題ただ一人だけ完登した加島の独断場。リードでも加島、坂井が完登。圧倒的な強さで国体への切符を手に入れた。

今回の大会は、垂壁、スラブでの得意、不得意が現れた。柔軟性、バランスが要求され力ではなくムーブで解決していく様はアテンプトを重ねるたびに進化が見られ面白い。しかし、県による実力の差は大きく有力な選手がいる場合はいいが、いなくなるとボーナス 1 も取れない状況もある。競技全体の選手層の課題である。

2. 運営

今回は、今までの競技運営の課題に取り組んだ。

① 時間短縮・加須の施設の特性を活かし、ボルダール、リードを別の日に開催。各カテゴリ競技終了後、次のカテゴリのオブザベーションまでを 30 分とし仮成績の発表、ルート替えを行なった。オブザベーション中、総務員会議とし栃木のように次のカテゴリまで 1 時間以上待たせることのないように実施。

②成績処理と公開

栃木では、山本氏の成績処理システムが全部使われていなかった。今回、各データの差込処理にやや不都合あったが対応可能。次回山梨への引き継ぎを確実に行う。

専門委員会・計画 [27年9月~28年1月]

指導委員会

- 10/17 13:00~指導員総会 : 東吾野/福德寺
- 15:30~緊急避難研修会 : 日高/巾着田
- 10/18 08:00~登攀研修会 : 虎秀/阿寺の岩場
- 11/6-8 指導者中央研修会 : 立山/国立登山研修所

競技委員会

- 10/3-5 「紀の国和歌山国体」 : 和歌山/みなべ町
- 11/29 第 28 回県大・コバトクライミングカップ : 加須

選手強化委員会

- 10/3-5 「紀の国和歌山国体」 : 同上

遭難対策委員会

- 10/3-4 テントフォーラム in かなやま : 太田市/かなやま
- 12/12-13 遭難防止研修/講習会 : 上尾/スポーツ総合センター

海外登山委員会

2016 60 周年記念海外登山 ・企画検討中

2016 60 周年記念海外登山講演会・企画検討中

自然保護委員会

10/24-25 第 1 回自然観察会：雲取山

10/31-11/1 第 4 回関東地区自然保護交流会：日上市

H28 2/27-28 第 2 回自然観察会：小川元気プラザ

ジュニア委員会

広報委員会

9/30 広報誌 52 号発行・配布

9/24 60 周年記念誌 (DVD) 編集委員会 II

10/20 60 周年記念誌 (DVD) 編集委員会 III

11/20 60 周年記念誌 (DVD) 編集委員会 IV

企画委員会

記念誌 DVD 資料 データーベース作成

2016/4/23-24 ホルダリングワールドカップ 加須

個人会員委

事務局

10/9-11 第54回全日・登山大会 宮城大会/栗駒
(柳原政一、大野幾雄、加藤加豆、今井孝江 参加)

10/25 JAC埼玉支部講演会：さいたま市仲町

積雪期登山講習会/指導員研修会開催のお知らせ

平成 27 年度積雪期登山講習会・研修会を次の通り開催します。また、当講習会に併設して指導者研修会を実施いたしますので併せてご参加いただきますよう宜しくお願いします。

記

- 1.趣 旨：積雪期登山の安全登山普及と技術向上を目的とする
- 2.主 催：埼玉県山岳連盟(主管 指導委員会)
- 3.期 日：h28 年 1 月 16 日(土)~1 月 17 日(日)
- 4.会 場：那須岳周辺
- 5.参加資格：岳連所属会員,岳連が認めたもの
- 6.指導講師：クラス別講師 (埼玉県山岳連盟所属) 日本体育協会公認指導員
- 7.宿泊場所：那須大丸温泉
ニューおおたか TEL0287-76-2457
- 8.申し込み先：指導委員会(野村善弥宛)
FAX 048-885-1470
E メール ynom36@ybb.ne.jp
- 9.申込締切：1月3日必着

詳細については各会への配布資料を参照ください HPから「講習教程」及び申込書をダウンロードできます。

寄稿

登山支援 延べ一万人超える

惠流峰会(エルミネア) 逸見照三

秩父山岳連盟では、埼玉県西部近郊の中学校より登山指導の要望があり、武甲山登山支援を実施しています。

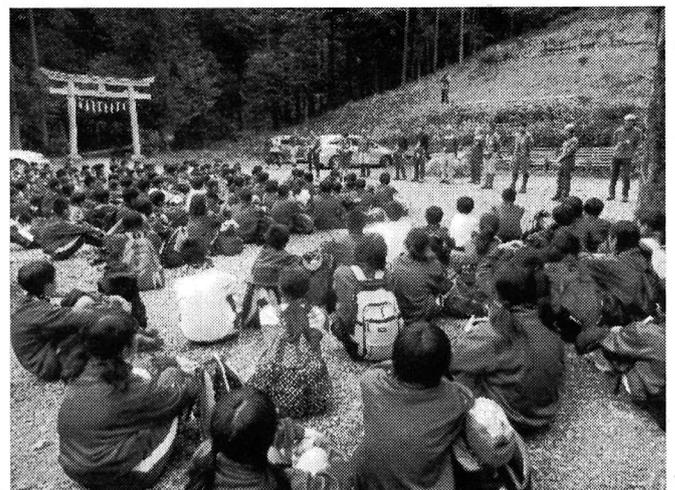
平成 10 年より依頼を受けて早 18 年になります。毎年、3 校程度 500~600 人の生徒を引率し今年で延べ 1 万人を超える実績となりました。登山の楽しさ、苦しさ、団体行動での規律などを経験させると共に、自然環境、山岳文化への理解を深めています。

自然の美しさ、頂上を征服した時の充実感、生徒一人ひとりの目標が達成できた喜びなど、人それぞれの感じ方は違っていても貴重な体験になっていると思います。彼らの喜んだ顔を見ながら秩父山岳連盟の会員達は、自分の時間を惜しまず指導に当たっています。年 2 回の登山道整備や、以前にも紹介した丁目石の修復作業に伴い「楽しかった」と言われる言葉が聞こえるよう日々努力してきました。

平成 12 年からは、学校での事前レクチャーを開き、武甲山の歴史、石灰岩掘削の経過、生息する植物、等、山に登るだけでなくあらゆる面からの楽しみ方も指導しています。

途中の水場を気持良く使えるよう水質検査の実施、小袋に小分けし水場に敷く玉砂利の運搬、さらには、山頂トイレが雨水による水洗式のため水の確保として、生徒一人ひとりにペットボトルを持たせ水洗タンクの水補充など、他では味わえない山の経験をしています。

自然環境文化を伝えていく事は、今、我々山を愛する者がやらなければならない使命だと思い、次世代の青少年に期待を持ちながら活動を続けています。



武甲山登山に向けて説明をうける生徒さん

祝 埼玉県山岳連盟 創立60周年

1955~2015

【事務局だより】

下記、新役員のお知らせがありました。

(公財)日本山岳協会 平成27年度 役員名簿

会 長	八木原 罔明
副会長・専務理事	尾形 好雄
副 会 長	國松 嘉仲
副 会 長	高橋 時夫
副 会 長	亀山 健太郎
常務理事	小野寺 斉
常務理事	西内 博
常務理事	仙石 富英
常務理事	森下 健七郎
常務理事	京才 昭
常務理事	水島 彰治
常務理事	瀧本 健
常務理事	中瀬 和徳
理 事	相良 忠麿
理 事	北村 憲彦
理 事	増山 茂
理 事(北海道)	小野 倫夫
理 事(東 北)	斉藤 喜代志
理 事(関 東)	小宮山 稔
理 事(北信越)	牧野 治生
理 事(東 海)	亀井 正明
理 事(近 畿)	伊藤 克己
理 事(中 国)	大西 一俊
理 事(四 国)	峯本 典寛
理 事(九 州)	下田 泰義
監 事(山 梨)	内藤 順造
監 事(岡 山)	岡本 忠良
監 事(税理士)	中嶋 正喜

(公社)東京都山岳連盟平成27年度 役員名簿

〇就任

会 長	亀山 健太郎
副 会 長	中嶋 正治
専務理事	廣川 健太郎
事務局長	松本 敏
理 事	松本 邦夫
理 事	瀧本 健
理 事	橋 薫

理 事	北島 英明
理 事	桜井 進
理 事	小尾 健一
監 事	大島 文雄
監 事	中嶋 正喜
〇退任	
会 長	佐藤 旺
副 会 長	寺内 丈行
監 事	中村 忠敬
監 事	砂田 定夫

◆環境省自然環境局長表彰

自然公園指導員功労者として環境省の表彰を受けられました。おめでとうございます。

瀬戸 朋義 (埼玉県山岳連盟) 恵流峰会所属

◆さいたま市岳連主催 ジュニアハイキング教室

さいたま市岳連では、11月21日-22日の2日間に渡り、秩父・堂平山においてジュニアハイキング教室を計画。小学校5年生児童10名と教諭3名を対象に「ハイキングの楽しさ、関東平野の夜景、星の観察、ハオテント宿泊体験等」を楽しむ。

市岳連では渋谷直克(浦和西岳友会チーフリーダー)が中心となり塩谷壽子・寺井繁美(大宮山岳会)、大成義之(市役所アルピナ)、吉田秀夫(JR 大宮山の会)、天野賢一(遠峰山岳会)、堀江伸子(桜草山の会)の6名がスタッフとして計画を進めることになりました。

【編集後書】

埼玉国体のクライミング競技に使われたリフト壁が『関ブ』を最後に更新のため撤去されることになり、田中県岳連名誉会長、石倉県岳連会長、古峰加須市岳連会長、埼玉国体のクライミング競技チーフを務めた飯山氏も参加され、ボードのお別れ会が行われた。加須市山岳連盟の会員をはじめ『関ブ』大会の運営スタッフも多数参加、名残りを惜しんだ。

10p 写真参照

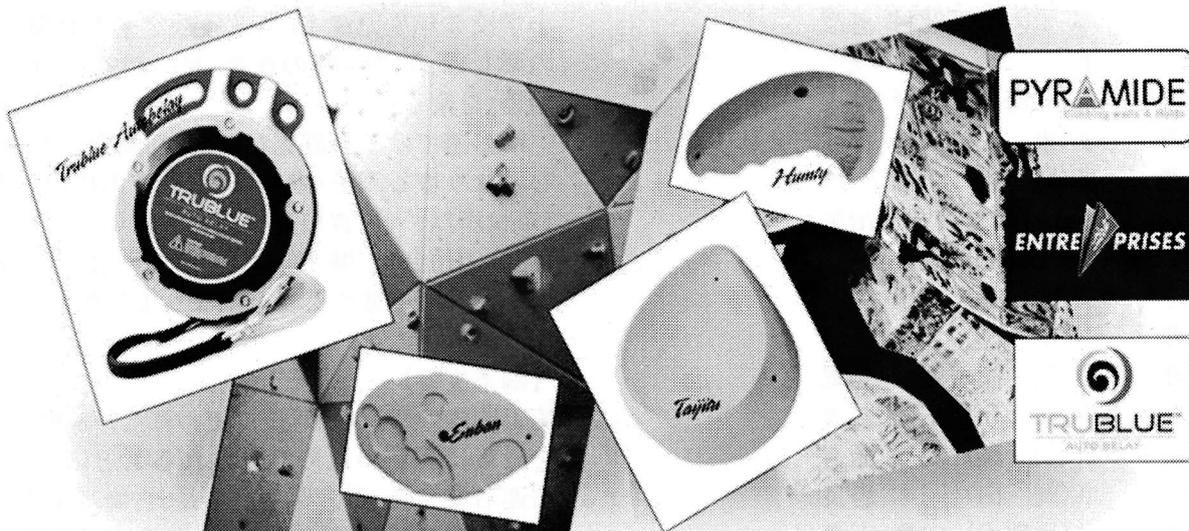
※都合により県内リザルは次号に掲載します。

※お詫び 当広報誌52号は「和歌山国体・速報」を掲載のために約2週遅れで発行されますのでご了承ください。

広報委員長 岩井田正昭



関東ブロック競技終了後 大会関係者、スタッフ一同で記念写真・数々の激闘の思い出を残したボードを前に さようならパーティを開催、中央(白シャツ姿)に田中名誉会長、右隣り古峰加須市岳連会長、前列中央に飯山氏、右隣りに森下前会長、クライミングボードに送った感謝状を手に井上加須市岳連理事長他の皆さん。



取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートビレイシステム
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と
ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5
Tel:042-980-5650 Fax:042-971-6780
URL: <http://pyramide-japan.com/>
Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ



MADE IN ITALY

Dolomiti Val di Fiemme



LA SPORTIVA

フルグレインヌバックレザーブーツ

本革 + 特許ソール

新装着!!

バージョンアップ

長期縦走向け
マウンテンブーツ



インパクトブレーキシステムソールを新たに装着!



従来のフラットソールからバージョンアップ!
ブロックごとに独立した角度が違う形状が
効果を発揮!

クッション効果により 疲労軽減

衝撃吸収力UP

上り・下り
グリップ力UP



高品質フルグレインヌバックレザー-2.6mm
イタリアの高品質で堅牢なフルグレイン
ヌバックレザーを惜しみなく使い
履き込む程に味が出る革本来の良さ。



V字カット アンクルパット
足首の保護と歩きやすさを両立。下り
でもアキレス腱にかかる負担を軽減。



ラバーバンド
幅広のサイドラバーを全周させ、補強。
ハードなロングトレイルにも対応。

バルディフィメ GORE-TEX IBS

サイズ 23cm~27.5cm
WT 約625g (1/2)



限定
モデル

税込 **39,800円**

中底には、天然皮革を使用。
靴内の汗を吸い込み外に
放出するためムシにくく快適。



〈断面図〉



本場イタリア製 **チロリアンシューズ**

履くほどに味が深まる
天然皮革オイルレザー使用モデル

袋へ口構造で足全体を
しっかりと包み込みます。

モカの部分は、職人による
手縫い仕上げ。

シティ

アッパー 3mm厚防水フルグレイン
オイルレザー
ソール ビブラム(張り替え可能)
中本底 天然皮革

サイズ 23.5~27.5cm
WT 約560g (1/2足)

限定
モデル

税込 **25,800円**

山の“3種の神器”ザック・山靴・雨具は安心の専門店です!!

登山用品や
お得な情報満載!

WEB SHOPもご利用ください

~割引クーポン、おトクな情報をお届けします。~

はじめての
山登山
応援します!

メルマガ会員
募集中! 登録無料

<http://www.nippin.co.jp>

ニッピン 検索



ニッピンは、

秋葉原に登山用品専門の
お店を構え、半世紀以上。

facebook twitter

秋葉原 **ニッピン**

【営業時間】
AM11:00~PM7:00
〈定休日/毎週火曜日〉
※繁忙期は、無休

本店 〒101-0021
東京都千代田区外神田3-11-11

☎ **03(3253)1431**

神田小川町店 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町3-2

☎ **03(3233)4121**



ALP K2®

ここ数年、登山ブームが続いております。
 市民ハイキングやバスツアー登山も盛況のようです。
 このところ遭難事故も多発しております。
 グループでの山行のためにも、あなた自身のためにも、
 今、動脈血の酸素量がどの位なのか、脈拍数はどの位なのか、
 正確な機械で測定してみてください。
 日本山岳協会創立50周年記念の際に特別提供した
パルスオキシメーターを埼玉県山岳連盟支援のために、
 更に特価でご提供致します。



季節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたらいかがでしょう。
 超特価でご提供できます。お誕生日、結婚式、お歳暮、クリスマスプレゼントなど、
 用途に応じて対応させて頂きます。
 もちろん山行に持参できる小型タイプもございます。



登山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。
 樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。
 葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。
 樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。
 ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。
 人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。
 ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。
 世界80数カ国に製品を輸出しております。



- **パルスオキシメーター**
- **歩数計**
- **デジタル血圧計**
- **聴診器**
- **その他医療器全般**

ALP K2® 田中産業株式会社

本社
 113-0033 東京都文京区本郷3-16-3
 TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177
 Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
 取得致しております